

ヴェリタス学習会通信 93

予定表カレンダー →



令和6年12月の予定

- ・月曜日 12月2・9・16・23日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 12月4・11・18・25日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 12月5・12・19・26日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 12月13・20・27日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00

6日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

6日(金)は、北勢市民会館に先約があり、**ヴェリタス事務局**で行います。

12月30日(月)～1月3日(金)は年末・年始のため、学習会はありません。



ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。
丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

大雪やその他の警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



利用が広がっているZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

小國寡民



高校生のときの漢文の教科書に「小國寡民」で始まる文章が載っていました。『老子道德経』の80章です。道徳とありますが、現在の授業で扱っている道徳ではありません。人により解釈の違う部分はありますが、内容は次のようなものです。

国を小さくして、住民の数も少なくする。十人分や百人分の仕事がこなせる道具や機械があっても、使わないようにさせる。死を重大なことと考えて命を大切に扱わせ、他国に移住させないようにさせる。船や車があっても、使うことはなく、^{かぶと}甲や武器があっても、これを使うようなことはない。昔そうだったように、住民には縄を使って文字の代わりに使わせる。食べているものをうまいと感じ、着ているものを美しいと感じ、住んでいる住居に満足し、自分たちの生活を楽しいものとする。隣の国どうしはお互いに見えるところにあり、^{にわとり}鶏や犬の鳴き声が聞こえてきても、住民は老いて死ぬまで、お互いに行き来することはない。

グローバル化の時代に何を

老子の時代背景の知識も充分ではない頃ではあったのですが、「このグローバル化の時代に、何を言っているのか？ まったく時代遅れで、この思想を学んでも現代には役に立たないのではないか？」と感じました。

私の通う高校にもオーストラリアから留学生が来ていましたし、こちらからもオーストラリアに留学している生徒がいるとのことでした。そんな時代になっているのに、隣村（老子では「国」）にさえも行かないなんて。

武器は使わないに越したことはないのですが、便利な道具は使えばいいし、車（現代の車ではないが）や船があれば、乗ればいいのに。文字も非常に便利なもので、せつかくあるものを使わないとは、何を推薦しているんだと思いました。



老子の言う「道」を理解すれば、迷いがなくなるらしい

孔子の始めた儒教（儒学）は、一生懸命努力して学問にはげみ、秩序を守っていけば、世の中がうまく行くというものでした。仁徳のある人物になることが理想です。それに比べ、老子の考えは、次のようなものだと私は解釈しています。



学問にはげんで知識をつけようとする風潮は、競争社会を助長し、皆が幸せにならないどころか、世の中もうまく行かない。今の状況に満足し、こうしたいとか、ああしたいとか思わずに生活するのがよい。上に立つ者も自分の考えを押し付けるのではなく、民の心に寄り添って無心で自然に任せると世の中は治まる。上に立つ者も民も頑張らなくてよい。

私たちは儒教の教えのように、自分の能力の中で精いっぱい努力し、上昇志向で、できるだけ自分の理想に近づけるような生き方を目指すことが多いと思います。また、他人にもそうあるべきと求めます。しかし一方で、頑張り過ぎて身体を壊したり、精神を病んだりしては元も子もないという考えも納得できます。

老子のキーワードは「道」です。「タオ」と読ませることもあります。私はこの「道」を理解しようとして理解できないのですが、「老子道德経」の中に、歳を経て納得できる章句も増えてきました。あくせくした現代社会に安らぎが得られる「老子」の世界に触れてみませんか？